

稽古人の声

【筑波・守谷合気道クラブで稽古する方々の生の声をお届けします。ほとんどの方が初心者で、当該クラブから合気道を始められた方々ばかりです。合気道をしてみたいのは山々だが、自分にも出来るものなのだろうかとお考えの方々へ向けて、クラブ内アンケートを実施いたしました。】

代表 曾我 真

イニシャル…H・I・ 性別…男 年齢…42歳

1. 合気道を始められたきっかけは何でしたか？

内田樹さんの本を読んで、合気道に興味を持ったことや、甲野善紀さんの「古の武術に学ぶ」というNHKの番組を見たりして、武道的なからだの使い方に興味を持っていました。近所の郵便局で、守谷合気道クラブのチラシを見て、「これだ」と思い、見学を申し込んだのが合気道との出会いです。

2. 合気道を稽古して、どのくらいの期間が経ちましたか？

週1回の稽古で、3年目に入りました。稽古は、今までに80回程度になりました。

3. 合気道には試合がありませんが、今日も稽古をしてみようと思つて、道場へと向かう、その動機は何でしょうか？

自分自身のからだの動きが少しずつ向上していくことを楽しみにして稽古を続けています。勝ち負けや、タイムなどの外的な基準を手がかりにするのではなく、自分自身の感覚を自分の体に向けて、それを手がかりにして稽古をしていくことが大変面白いと思います。

4. 稽古内容について、何かご意見がございましたか？

その他ご自由に合気道に関する感想をお書き下さい。

合気道は技が多彩にあるように思います。この合気道クラブでは、技を学ぶのではなく（もちろん技も学びますが）、技を学ぶことを通して、合気道の本質的な何かに触れようとしているように感じています。私も、ごくわずかかもしれませんが、技が使えるのではなく、からだの動きや、相手との関わり方などについて、合気道的な能力を身につけていくかもしれないと思っています。ただ、昇級審査の際には、技の指定があるので、その技の稽古が充分にできていないような気がして、若干の不安を感じる気がします。

参考